

これからの地域づくり
～持続可能な暮らしの実現を目指して～

令和元年 7月2日（火）

市民生活部 市民協働推進課

1

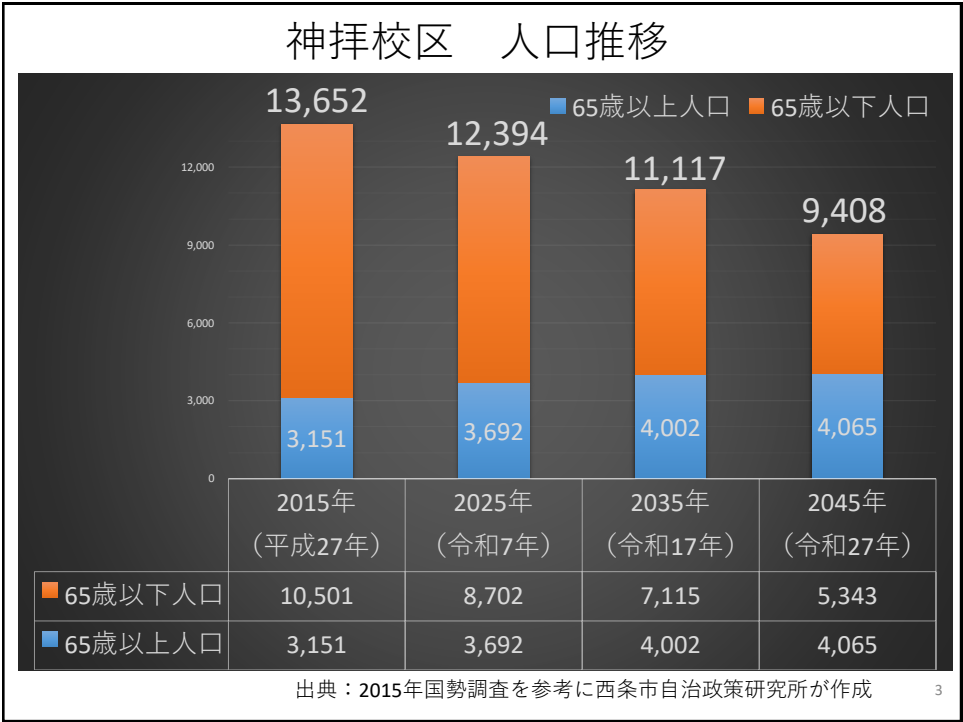
これからの地域づくりとは・・・



少子高齢化・人口減少時代

の地域づくりです！

2



3

**なぜ、今
地域づくりなのでしょうか**

4

□少子高齢化・人口減少の到来

□多様化・複雑化する地域の課題

□地域で活動する団体の組織的な課題

□地域コミュニティの重要性

5

多様化・複雑化する地域課題

社会環境等の変化

少子高齢化・人口減少

価値観・ライフスタイルの多様化

家族形態の多様化

人間関係の希薄化

つながり・地域力の低下

多様化・複雑化する地域の課題

自然災害

犯罪

空き家対策

虐待

子育て

退職後の
生き方探し

一人暮らし
高齢世帯

介護予防

買い物弱者

老老介護

孤立死
(孤独死)

行政だけでは対応（解決）できない課題

求められる地域・市民の課題解決力

6

地域で活動する団体の組織的な課題

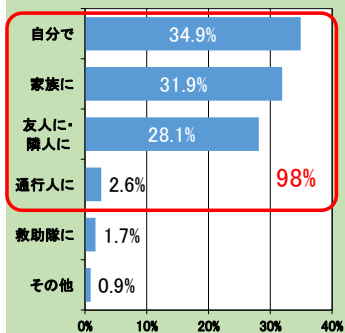
- 役員の高齢化・固定化・輪番制
- 活動者の不足
- 事業のマンネリ化
- 若者や女性参加者が少ない
- 団体運営に必要な事務が大変
- 他の団体との交流や連携が不足
- 資金の不足
- 地域活動に無関心な方の増加

7

地域コミュニティの重要性

東日本大震災、西日本豪雨など 各地で発生する大災害・・

生き埋めや閉じ込められた際の救助
(阪神・淡路大震災)



阪神・淡路大震災で生き埋めや閉じ込められた際の救助は、98%の人が自分で、あるいは、家族、友人・隣人、通行人によると答えており、救助隊によると答えた人は、約1.7%にすぎませんでした。

(社)日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」による

8

自治会、PTA、地域で活動する 団体の代表者で議論を度重ねて..

西条市地域コミュニティ 基本指針 概要版

～持続可能な暮らしの実現を目指して～



「地域コミュニティ基本指針」は、少子高齢化が深刻化し、人口が減少するという厳しい状況の中でも持続可能な暮らしを実現するため、本市がもつ地域の力が発揮できる環境を整え、市民と行政が互いに手を取り合って支え合いながら、時代に即した新たな地域の枠組みを構築していくための共通の指針として策定したものです。

地域の暮らしが明るく、より豊かなものとなり、住み慣れた地域ですっと暮らしていけるよう、みんなで一緒に取り組んでいきましょう。

西条市

9

これからの地域コミュニティが目指す方向性

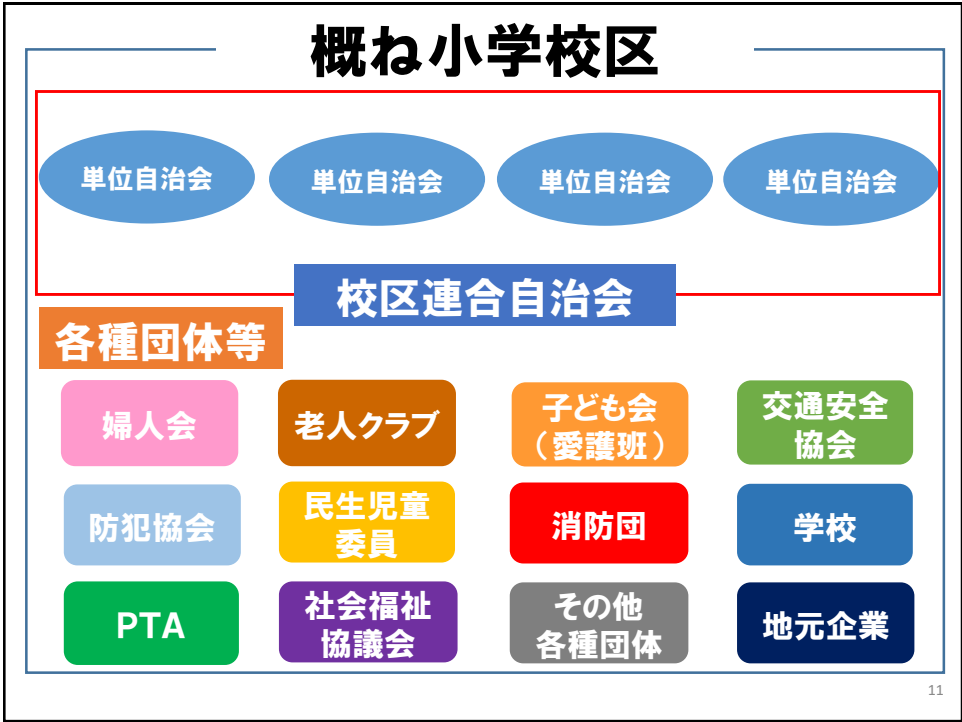
多様な主体が「参加」する

団体同士がつながい、「連携」する

地域内での「話し合い」を大切にする

地域住民が主体となって「課題解決」を行う

10



《地域自治組織とは》

- 自治会や各種団体だけでは
対応できない地域の課題を解決する
- 自治会や各種団体の活動を
支える・補完する

13

① 進め方を皆で考える



② 住民意識の醸成（講演会）



③ 皆の意見を聞く（座談会）



④ 意見をまとめる・どうすべきか考える



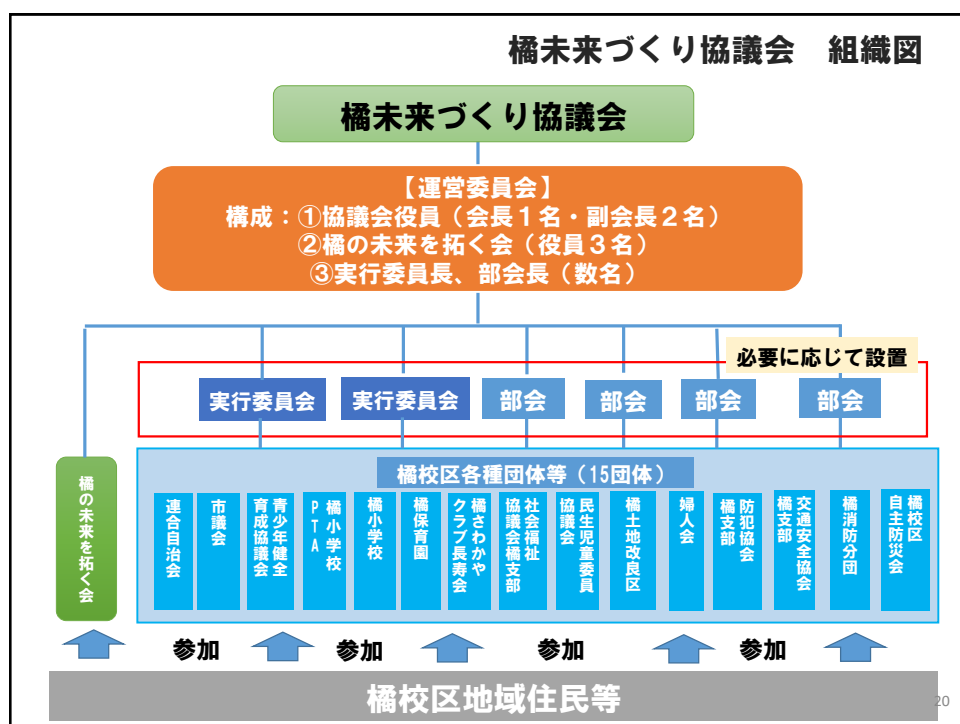
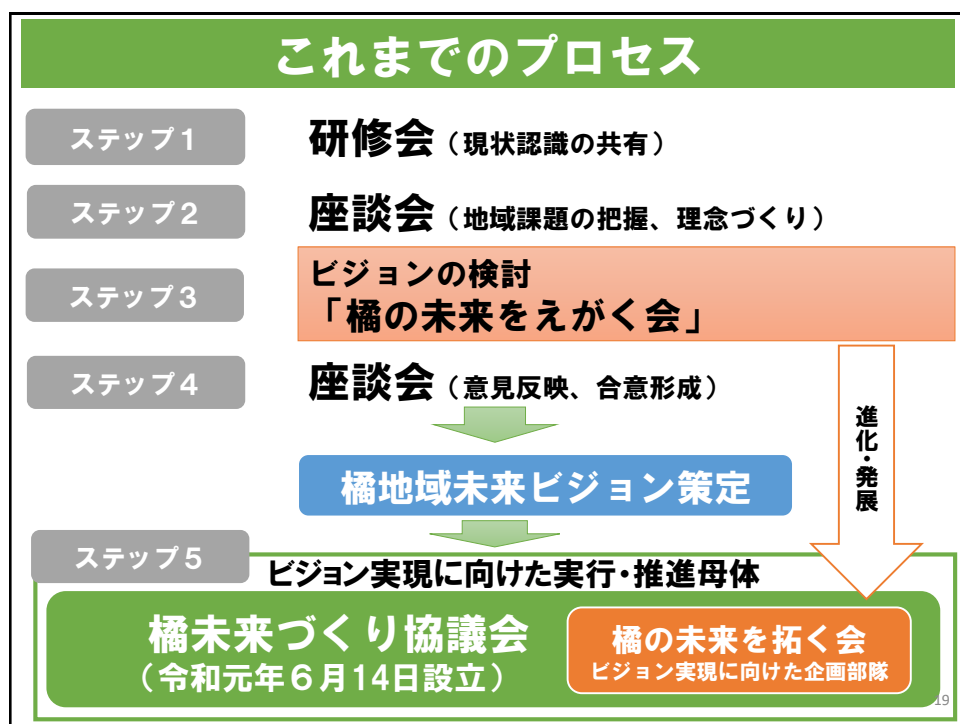
橘地区(橘の未来をえがく会)



大町地区(大町地区地域づくり検討会)

【橘校区】特に多かった地域の課題

1. 自治会・校区の負担軽減
(役職の多さ、事業の多さ)
2. 移動手段の確保
(お店がない、病院がない)
3. 一人暮らし高齢世帯への対応
4. 世代間交流

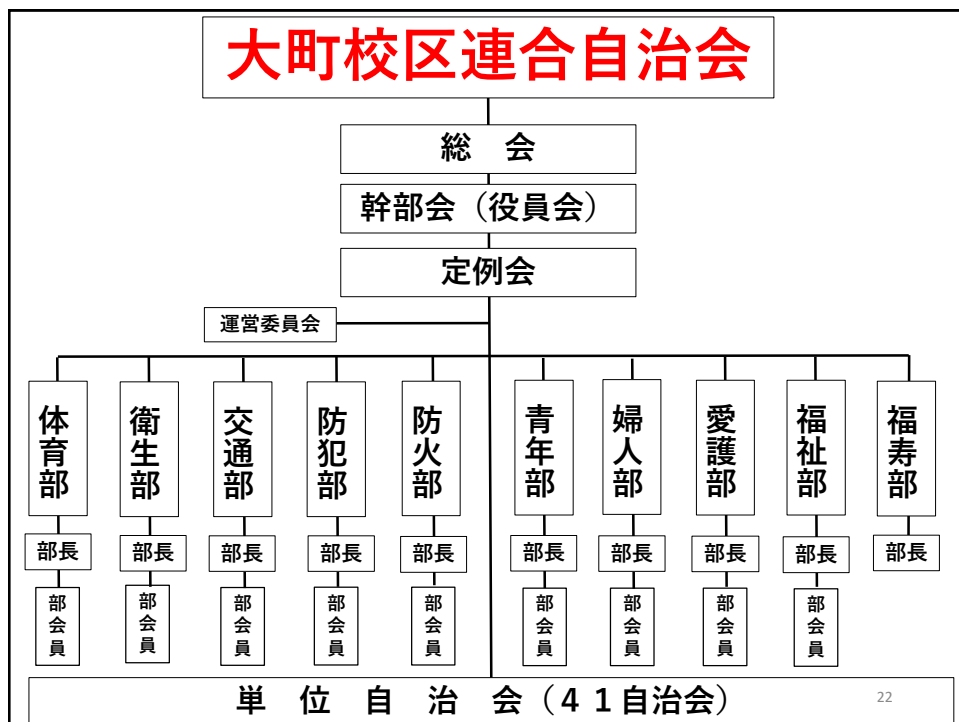


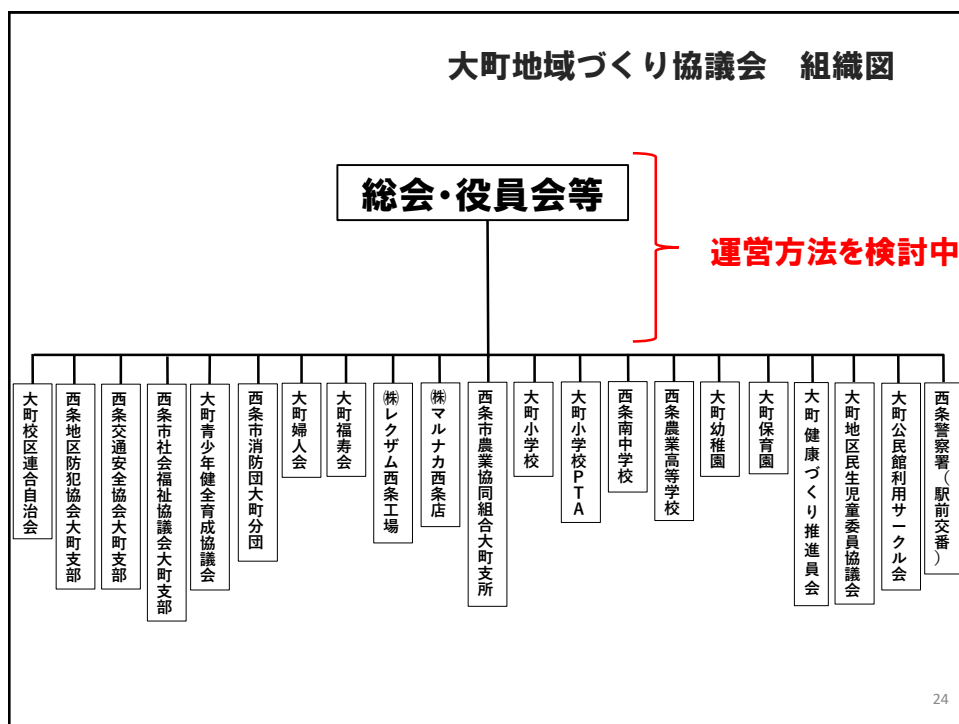
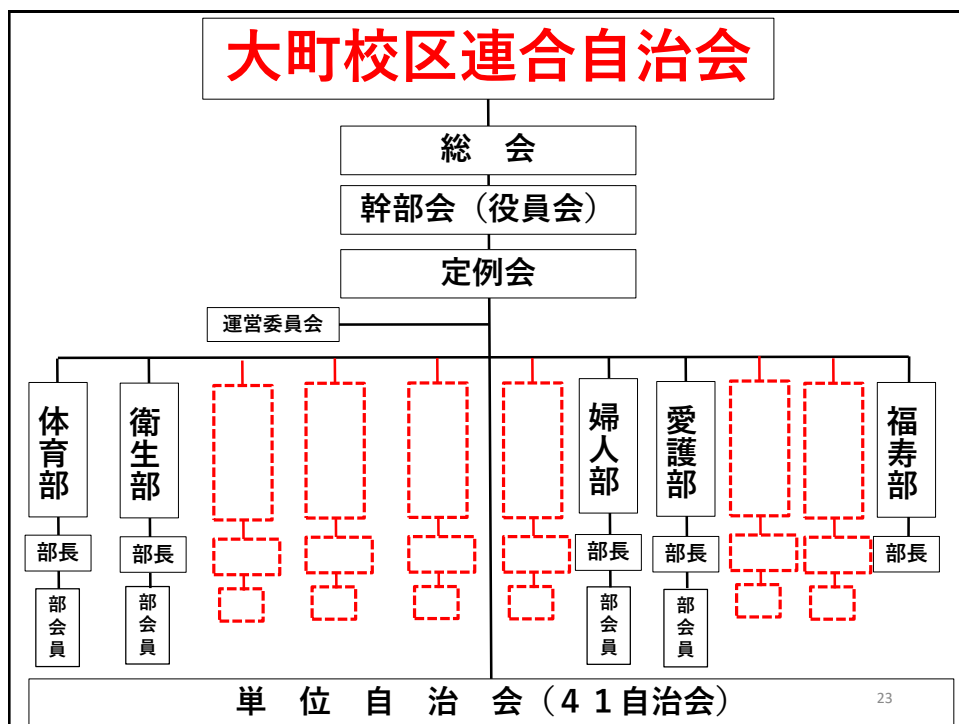
【大町校区】特に多かった地域の課題

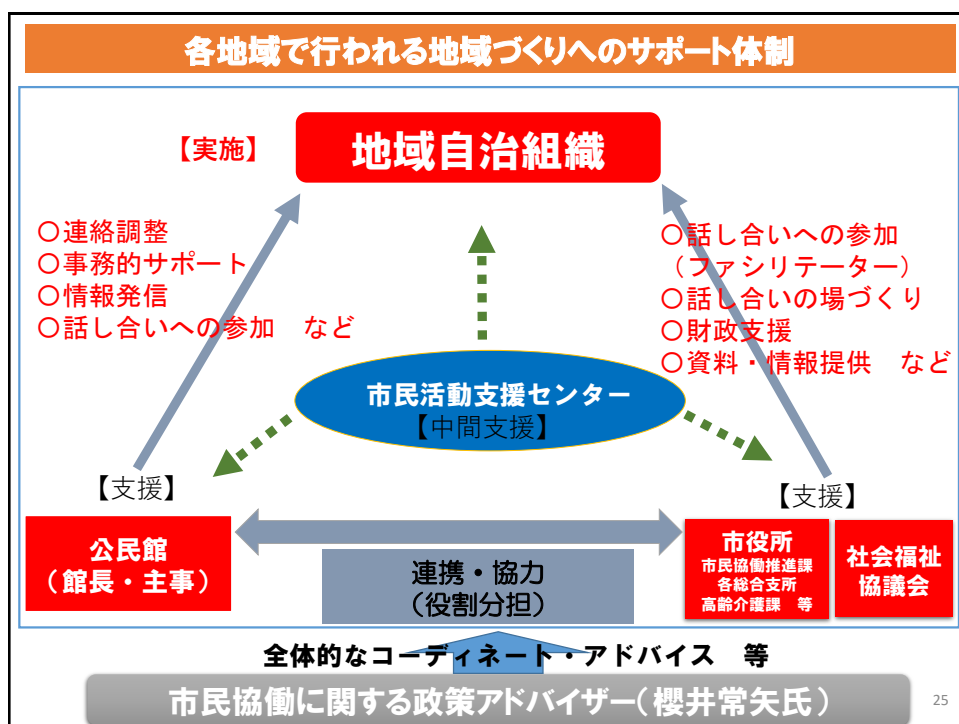
- ・ 役の負担・担い手の不足
- ・ 会議に参加することへの負担
- ・ 行事の多さ
- ・ 組織体制が複雑化
- ・ 単位自治会と連合自治会と関係

自治会に関する負担！

21







《市の考え》

地域の「伝統」「歴史」「個性」「特徴」などを大切にします。

地域の皆さんと・・・

丁寧に話し合い ながら
進めます！